

第 219 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 5 年 9 月 26 日（火） 13：30～14：59

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：岡田教育長 杉野本委員 花田委員（欠席） 岡山委員 倉本委員

事務局 草刈部長 藤井課長 松山担当課長 山口課長

永田担当課長（代理：藤井係長）鳥居室長 山本課長 濱見室長

書記：日ノ原係長（欠席） 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 教育委員会自己点検・評価について（資料 1）
- (2) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について（資料 2）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

皆さん、今日はお疲れ様です。ひと雨ごとに、ようやく少し秋に入ってきたなと思うが、今年は本当に暑い夏で、今後もこの暑さは、異常気象ではなくニューノーマルになっていくと思う。

9 月になり、各学校では、運動会や体育祭が開催されたが、そこで子どもたちの活動に元気をもたらした一方で、各学校では熱中症にかなり気を使われていたと思う。

中学校の新人戦がこの秋からなくなっているため、少しは秋の行事の日程調整などもやりやすくなったと思っている。

来年の運動会、体育祭の時期については、校長会の方でも検討されると聞いているため、なるべく暑さを心配しない時期に変わるといいなと思っている。

それから、その他の文化スポーツ活動もコロナ前の賑わいに近づきつつあると感じている。今後もコロナの感染が完全に収まったわけではないし、今インフルエンザが流行りつつあるため、この 2 つの流行については気になるところではあるが、状況を見ながら予防対策をして活動は続けていくという様な方向性にはある

のだろうと思っている。

それでは資料に沿って、先月の定例会以降の活動について報告をさせていただきます。

① 8月31日（木）少年の主張浜田大会（三隅中央会館）

8月31日に少年の主張の浜田大会があり、委員の皆様方も多くお出かけいただいた。各学校を代表する10人の弁士の本当にすばらしい主張を聞き、これが今学校の持ち回りということで、担当校の生徒しか来ていない状況があるが、より多くの生徒に聞いてもらえる様な開催方法については少し検討の余地があるのではないかと思う。

② 9月4日（月）9月市議会（一般質問）

9月1日に議会が開会した。教育委員会の場面では、小中学校の統廃合に伴う設置条例の一部を改正する条例のほかに、花田教育委員が11月18日で任期満了を迎えることから、それに伴う後任の同意案件を提案させていただいている。一応後任の候補として、今、浜田おやこ劇場の理事長である浅津芙美さんを提案させていただいている。

③ 9月5日（火）9月市議会（一般質問）

それから一般質問だが、これは後ほど報告事項の中で教育部長から説明があるが、江津の2つの県立高校の再編についての教育長の考えを聞かれた。それから、学校における体験活動の推進について、また学校図書館の読書活動の推進について、小中学校のプールの整備の方針について等が問われた。さらには、なかなか難しい問題だが、学校でのチャットGPTの利用をどう考えていくか、少しまだ不透明なところもあるかと思っているが、この方向感については作り出していかなければいけないと思っている。

それから教育委員会関係の補正予算で、吹奏楽のエキスパート指導者の招聘事業があったり、あるいは旭中学校の防音対策工事の設計事業であったり、それから世界こども美術館に、今、絵画の収蔵庫が少し不足しているという状況があり、これの改修事業を計上させていただいている。

9月28日が表決の予定となっている。

④ 9月8日（金）砕氷船しらせ入港歓迎式・艦上レセプション

9月8日には、砕氷船しらせが浜田港へ入港して、小中学生向けの公開で約520人が参加した。高校生5人ほどは、船内に

宿泊体験をした。貴重な経験をしている。

この他にも一般公開で参加した児童生徒もいると思っている。

砕氷船を見て、南極についての認識を新たにし、海上自衛隊への憧れを持った子どももいるのではないかと思う。そういう子どもたちも将来の就職先の1つとして考えてもらえるといいと思う。

実際、今回の隊員の中には浜田出身の方が1人おられ、母校の浜田高校を訪ねられたということである。そういう方が、船が帰って来た先輩からの南極探検談ということで、子どもたちに話をしてもらってもいいと思っている。

⑤ 9月24日（日）アクアみすみ（25）・室内プール（35）・三隅B&G（40）特別周年イベント

9月24日の日曜日、アクアみすみで特別周年イベントを開催した。この特別周年というのは、アクアみすみが25周年、室内プールが35周年、三隅B&Gが40周年とちょうど3つの施設の節目を迎え、この関係で、元オリンピックの代表選手であった山本貴司さんや千葉すずさん、それから寺川綾さんが来浜され、子どもたちや参加者に指導をしていただいた。

⑥ 9月26日（火）校長会教育条件要望（教育委員室）

今日午前中に、校長会から教育条件の要望があり、1番大きな重点要望としては3つある。

1つが特別教室へのエアコンの設置、もう1つが部活動の地域移行に向けた組織の創設と財源の確保、それから学校給食の早期公会計化の3点であった。

また詳細については、どこかの会で委員方にはお知らせしようと思う。

以上、教育長からの報告とさせていただきます。

今までのところでご質問等あるか。

特になし。

各委員

2 議題

(1) 教育委員会自己点検・評価について（資料1）

岡田教育長

本日の議題は、特に議題1、教育委員会の自己点検評価については少し時間がかかるが、よろしく願います。

それでは、この件について担当から説明をお願いします。

藤井課長

事前に自己点検評価報告書（案）を送付させていただいているが、本日は令和 4 年度の取組についての評価をお願いしたいと思う。流れとしては、お手元にある報告書（案）について本日委員方からご意見をいただき、そのいただいたご意見を受け、各課において修正した報告書を後日再度、委員方に送付させていただきたいと考えている。送付した報告書を最終確認いただき、ご了承いただけたら、その後、議会の総務文教委員会にて報告する予定としている。

報告書の内容として、令和 4 年度の評価は、令和 3 年度に新たに策定した教育振興計画の計画期間の初年度のものとなっているため、冒頭にある総評については、計画期後半の様なボリュームは今年度についてはないと思う。これから計画 2 年目、3 年目と点検・評価を重ねていくにつれて、総評のボリュームが増してくるイメージである。

また、新たに策定した教育振興計画の評価ということになるため、これまでなかった項目や、新たな切り口のものもある。事前にお目通しをいただいていると思うが、グループごとに区切ってご審議いただきたいと思う。よろしく願います。

岡田教育長

それでは基本的な点について何かご質問等あるか。

新たな教育振興計画のため、項目を 50 に絞り込んで作ってある。今まではかなりのボリュームだったと思う。一つ一つ見ていただきながら、ご意見を頂戴したいと思う。

3 ページから 6 ページについては、総評になっているため、個別の項目も見た後で、総評の表現がどうかということをご意見いただきたい。

最初に、8 ページの No.1 から皆さんの意見を伺う。進め方としては、ある程度まとめてその中でご指摘をいただくことにさせていただき、最初はこの「生きる力の育成」という主要施策に基づいて、8 ページから 21 ページ、ナンバーで言うと No.1 から No.8 までのところで何かご指摘事項があればお願いしたいと思う。委員方いかがか。

杉野本委員

意見ではないが少し伺いたい。17 ページの 4 年度の実績の中の 3 番のところに、新たな連絡システム「すぐーる」を全校に導入したとあるが、教育委員会が直接保護者に通知ができるということで、内容的にはどの様なことを想定して導入されたか教えていただきたい。

山口課長

連絡システムだが、昨年の令和4年6月から正式運用している。これについて、それまで各学校でイズミさん等、いろいろな無料広告があつて、無料で提供しているシステムを使っていたが、要は、いろんな広告が入っているため防災安全課からのメールを含めて、学校から大事なものが確実に届くように整備したものである。

それに合わせて、教育委員会からも、直接学校を通じず流せるメリットもある。

今回導入した災害時の緊急とか、コロナの5月の5類移行の関係で全体に直接周知するもの、そういったものを中心に使われている。

あと、学校でチラシ等たくさん配布物がある。これを教員や学校の関係者のお手を煩わせずに、必要なものは教育委員会から直接保護者に届けられるというメリットがある。

杉野本委員

学校自体にも、こういうものを送っていますよ、というのが見られるのか。

山口課長

はい。

杉野本委員

非常にいいなと思った。

岡田教育長

今までバラバラなフリーソフトを使ってやっていた部分を、共有のシステムを入れさせてもらったことと、教育委員会から保護者宛に一斉送信ができるため、今まで紙で、例えば学校を通じて子どもたちに家まで持って帰ってもらっていたものを、教育委員会として必要があると思えば、PDFで一斉に送ることが出来るようになった。

杉野本委員

ちなみに保護者は100%の導入というか、その連絡リストに入っているのか。

山口課長

どうしても各校数名はまだ入っていない。

杉野本委員

承知した。

岡田教育長

その他、いかがか。

各委員

特になし。

岡田教育長

では、もしまたこの後に気づかれたことがあればご指摘いただけたらと思う。

続いて22ページのNo.9。ここから主要施策が「一人一人を大切にする教育の推進」となるが、22ページから27ページ、No.9からNo.12までの間で何かご指摘があるか。

各委員

特になし。

岡田教育長	特にないようであれば、続いて 28 ページからになるが、「食育と健全な体づくりの推進」である。28 ページから 33 ページまでのところ、No.13 からNo.15 であるが、この中ではいかがか。
杉野本委員	30 ページのNo.14 である。4 年度の実績のところ、地元産品活用割合の結果は 86.5%となり、県内 8 市で 1 位とあり、非常に素晴らしいことだと思う。
藤井課長	給食センターがいくつがあるが、それぞれ同じところから食材を分配していくのか、それともセンターごとで、あるいは調理場ごとでやるのか、どの様なシステムなのか。
藤井課長	三隅は直営、それ以外は地域のセンターだが、仕入れもメニューもそれぞれ違っている。なるべく地元の、例えば弥栄なら弥栄の農家から仕入れるという様なかたちで、それぞれ地元で取れる食材を利用する様な仕入れになっている。
杉野本委員	どこの調理場も給食センターも大体同じ様な割合になっているのか分かれれば教えてほしい。
藤井課長	これは市内のすべての平均値が 86.5%となっていて、多少地域によって差があり、はっきりとは言えないが弥栄がやはり多めである。しかしここが突出して低いということではなくて、浜田市は全体的に総じて高めである。
杉野本委員	承知した。ここの表現について指摘があるわけではなく、ちょっと教えてもらいたかったので質問した。
岡田教育長	そのほかはよろしいか。
各委員	特になし。
岡田教育長	それでは、次に 34 ページの家庭教育支援の充実から 43 ページの青少年の健全育成まで、No.16 からNo.21 までのところで何かあるか。
各委員	特になし。
岡田教育長	では、次に移らせていただく。
各委員	次の社会教育の推進の分野になる。44 ページから 60 ページぐらいまでのところ、No.22 からNo.31 までのところを見ていただきたいと思う。
各委員	社会教育の推進関連で、ご指摘等あるか。
岡田教育長	特になし。
各委員	続いて、61 ページから 66 ページ、生涯スポーツの振興についてである。No.32 からNo.35 までのところでご質問等あるか。
各委員	特になし。

岡田教育長	次に移らせていただく。
	67 ページから歴史・文化の伝承と創造の項目になるが、最後 86 ページまでのところ、浜田市の文化市政、学校教育、教育行政に関してだが、この辺りはいかがか。
杉野本委員	No.37、70 ページの評価の 4 行目、「展覧会によっては観覧者の 5 割以上が県外から来館するなど利用人数は令和 3 年度から約 16,000 人増加し、一定の成果があった」とあり、だいぶ増えているのはうれしい限りである。
	68 ページのところでは、石央文化ホールは、「利用人数は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症発生前の状況には至っていない」ということで、回復してきているけれども、感染症発生前と比べてどのくらい少ないのかが、感染症発生前の数字の記載がないためわからない。70 ページのところは、数字の記載があるため、非常に増加がわかる。感染症が広がる前の状況とここも比較してみてもらおうといいかなと思う。
山本課長	こども美術館についてであるが、感染症前の状況の評価のところに記載をするということで、状況としては、実績の方に令和 4 年度の全体の利用者数 42,504 人と表示している。コロナ前でいうと、令和元年の実績は今持ち合わせてないが、令和 2 年の実績が 17,289 人である。これはまだコロナ前とは言いがたいので、評価の方には、元年度の実績も入れさせていただきたい。
杉野本委員	お願いします。
岡田教育長	その他、いかがか。
岡山委員	75 ページのNo.40 だが、令和 4 年度の実績の 2 番に文化庁等各種助成制度の活用支援とあるが、(1)の石見神楽団体の用具等整備費の助成 (10 団体) と書いてあるが、金額はどのくらいになるか。
山本課長	手元に資料がないが、これは申請が令和 4 年度で、実際に助成になるのは今年度になる。ここでは申請をしたということが実績になっている。その申請の中に金額があれば、申請額として挙げさせていただこうと思う。
岡山委員	1 団体でも高額になるのではないかと思った。他の団体も使えるのであれば、金額がどのくらいなのか分ければお願いしてみようかと思うのではないか。もし金額、申請額が分かればあると嬉しい。
山本課長	承知した。
杉野本委員	今のNo.40 の具体的取組①文化振興事業 (再掲) とあるが、No.39

の再掲ということか。下の方の実績の方の表現、内容が変わっているが、一部再掲なのか、項目だけが再び出ているということか。ちょっとこの意味がよく分からない。

山本課長

施策としては同じだが取組としてはこの事業が2つにまたがるということで、今おっしゃったとおり40番は39番の再掲ということで挙げさせていただいている。そういう意味で、歴史文化保存展示施設整備事業についてもいろんな取組に関わっているということで「再掲」、「再掲」と何度も挙げさせていただいている。

杉野本委員

形式的な部分で、「再掲」という言葉はそういう場合使っていいということか。

岡田教育長

もともとこの具体的な取組というのは、総合振興計画と教育振興計画というのは連動しているが、その中で、具体的取組というのがいくつもの事業自体が項目に複数関わる場合、そのそれぞれに書いてある。

その項目を教育委員会のそれぞれの自己点検票と関連付けようとしているので、必ず何か項目が入る。そうすると、内容や目標や実績が全く違うものであっても、関連する具体的取組として1つしかない場合、それを「再掲」ということで挙げる。これは形式上のものということで見たい。

杉野本委員

承知した。

岡田教育長

他はよろしいか。

各委員

特になし。

岡田教育長

では、87ページから教育振興計画の目標達成度について記載があるが、これらの数字のことで、何かご質問等あるか。

目標値について、令和4年度の実績数値が掲載されている。毎年1回点検をしていく時に、この記載を残したまま、5年度、6年度、7年度と数字を追っていけるようにしたものである。

令和4年度の実績値と目標値などを見ていただければと思う。なお、数値については、単年度目標ではなく令和7年度までの累計を目標値としているものもあるのでご覧いただきたい。

それでは、以上の点検項目を踏まえたうえで、3ページからの総評の記載について見ていこうと思う。

3ページにあるのは、下の教育振興計画の5つの施策の柱がある。その5つの柱ごとに、評価を行うということに記載したものである。

4ページからは、それぞれ柱ごとの評価ということで、Iが学校

各委員	教育の充実、Ⅱが家庭教育支援の推進、と続いている。
岡田教育長	少し読んでいただき、気づいたことがあればご指摘いただけたらと思う。
藤井課長	特になし。
岡田教育長	全般を通じて、言い忘れた、指摘し忘れたという点はないか。
藤井課長	今後、今日欠席の花田委員にもご指摘事項があるか伺いをたてて、それを踏まえて今、教育委員方から少し指摘をいただいたところは修正を加える。今日出席されている委員方も、この後にもし何かあれば、それを事務局の方にお伝えいただければ、反映するようにしたいと思う。いつまでという日程だけ決めて欲しい。
岡田教育長	花田委員のこともあるため、来週いっぱいぐらいでお電話、メール、ファックス等でお伺いできればと思う。
杉野本委員	来週いっぱいまでということである。広範囲なので、後で気づかれたことがあれば、報告の様式は特に問わないため、電話でもメールでもお伝えいただければと思う。よろしく願います。
杉野本委員	全般的に、数値がしっかり書いてあり、前年度との比較があって、伸びているなどか、停滞しているなどというのがとても分かりやすかった。作成は大変だったと思うが、ありがとうございました。

(2) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について (資料2)

山口課長	<p>学校教育課から説明をさせていただく。資料2をご覧ください、令和5年度「浜田市教育委員会ボランティア表彰」推薦一覧である。学校から1団体、個人2名の推薦があった。この表彰については、子どもの安全確保に関する自主的な活動や犯罪防止に関する活動、環境整備等の活動である。長年継続して自主的に活動された方を表彰するものである。</p> <p>今回、長浜小学校の見守りボランティア団体が1件、個人としては国府小学校の二ノ美屋浩様、裏面になるが金城中学校の鎌原茂幸様、長年15年以上、各学校の交通指導、見守り、登校通学路の環境整備もされている。</p> <p>こういった1団体2名を今回推薦が終わったため、本日教育委員会で承認いただき、10月下旬に各学校へ教育長が出向き表彰したいと思う。</p> <p>ご審議をお願いする。</p>
岡田教育長	学校の前の数字に意味があるか。

山口課長
岡田教育長

1 長浜小、2 国府小、2 金城中、もしかして3の間違いか。
3の間違いである。

訂正をお願いします。

これは一番身近にいる学校から、こういう団体・個人の皆さんを推薦して欲しいという声があがっているため、それに基づいて教育委員会としても決定させていただければと思うが、いかがか。

各委員
岡田教育長

全会一致で承認

ありがとうございます。

では、同意いただいたため、これについてはこの3つの個人・団体について、ボランティア表彰の対象とさせていただく。

3 部長・課長等報告事項

草刈部長

令和5年度 一般会計補正予算（第4号）説明資料（資料3）

資料3をご覧いただき、令和5年9月浜田市議会定例会議の一般会計補正予算（第4号）になる。

編成概要のところだが、今回の補正予算は、原油価格・物価高騰対策として、追加で取り組む事業費の調整と6月補正予算編成以降に生じた経費について追加等を行うものである。

予算規模として補正額1,382,241千円を追加し、補正後の予算額が39,673,754千円ということになる。

6ページの10番教育費として、11,320千円追加となるが、番号でいうと22番エキスパート指導者招聘事業ということで吹奏楽の全国的な指導者、藤重佳久さんを10月から3月までエキスパート指導者として招聘し、市内小中学校の技術力向上と部活動指導者の育成を図るという流れになっている。

財源としては全額ふるさと応援基金の繰入金で、青少年の健全育成のものを使うことになっている。

その下の23だが、旭中学校の防音対策事業である。米軍機等の騒音により、学校教育上支障をきたしている旭中学校の校舎の防音工事の基本設計の予算計上ということになる。来年度の詳細設計のところでは計画書を出しているが、事前の基本設計をやらないと詳細設計にいけないため、今年度については、補正で6,034千円の一般財源を使って基本設計を行う。

7ページを開いていただき、24番世界こども美術館創作活動館絵画収蔵事業だが、こちらは浜田市名誉市民である故山崎修二画

伯、故橋本明治画伯の御遺族の方から市の方に寄贈される作品等を適切に収蔵するために、収蔵庫を改修して新設する工事と棚等を購入する経費、全体で4,406千円の追加の予算である。

財源としてはこちらもふるさと応援基金で、これは文化的資源保全活用などに関係するものに使用するという事になっている。

補正予算については以上で、最終的に可決されれば成立となる。

個人一般質問 通告一覧（令和5年9月浜田市議会定例会議） （資料4-1）

続いて資料4-1をご覧ください、個人一般質問通告一覧である。9月議会定例会だが、1日から28日まで28日間あるが、まだ終わっていない。一般質問以外に委員会代表質問があるが、総務文教委員会関係は今回ないため、こちらの方は個人一般質問のみである。

個人一般質問全体では17名、137項目あり、そのうち教育関係が10名、27項目あった。

令和5年9月定例会議答弁準備原稿 個人一般質問用（資料4-2）

資料4-2をご覧ください、教育委員会に関係がある答弁準備原稿である。岡本議員だが、江津高校と江津工業の統合に関する説明会での教育長の所見の部分で、第2段落辺りから考えを示してあり、統合により新しい高校の姿を模索していく必要がある。

江津工業は石見地域に数少ない工業系の高校である。こうした分野への進学を考えている浜田の子どもたちにとっても、学校の魅力が高まっていくことは喜ばしいという様な内容の答弁である。

1枚めくって大谷議員が3件続くが、宿泊体験活動に関する質問である。最初の2ページのところは、修学旅行それから宿泊を伴う校外教育活動それぞれの状況について答弁している。

3ページは、体験活動の意義である。体験活動ということで、直接、自然や人や社会などに関わる体験活動が大切だということ、子どもたちは五感で何かを感じ、社会を生き抜くために必

要な基礎的な能力を育んでいくものだと考えている。

1 番最後に、引き続き充実に努めていくと返答している。

続いて 4 ページのところは、自然体験、社会体験が量的、質的とも減少していることへの現状の受け止めと改善に向けた認識についての質問である。

教職員の体験活動に関する指導力を高めることが必要なため研修会を実施、社会教育の特色を生かした体験活動の充実に努める必要がある。親学の啓発活動に取り組むということで、家庭や地域の理解や協力のもと体験活動の充実を図りたいと考えている。

芦谷議員が 5 ページからになるが、国民スポーツ大会に関することで、5 ページにある、競技場の整備や競技団体の育成、競技の普及、どの様な方針を持ち、具体的な計画を立てているかという質問で、競技場の整備は来年度に中央競技団体による会場の視察が予定されているため、そこでの指摘を受けたものを中心に改修、整備をしていくことを検討している。

競技団体の育成や競技の普及は、島根県が競技力向上対策本部を設置して支援や強化の役割を担い、市としては、実施競技の体験会や小学校へのトップアスリート派遣事業の広報を行っている。

6 ページは、エキスパート指導者招聘事業、活動状況と成果についてである。清水雅治氏のこと言及している。活動は、3 行目から、4 月に市内で活動する野球団体の監督や中学校の軟式野球部の顧問を集め事業の説明を行い、6 月からは研修会、スポーツ少年団や中学校の部活動の個別指導や合同練習会を開催している。競技人口を増やす取組として、市内小学校で野球体験の機会を作ることも計画している。

成果については、なかなか目に見えてすぐに出るものではないと答弁している。

7 ページは、郷土資料館の関係で、平成 29 年 2 月に 2 行目にある「浜田市の歴史文化行政の推進に向けての提言」という陳情をいただき、この中に、その下のところに記載のかぎ括弧でまとめた 6 つの項目が記載されている。

第 2 段落のところ 2 行目だが、文化行政を推進していくための体制整備、施設整備、人材育成、調査研究の推進を図りたいと回答している。

現状のところとしては、今作っている地域計画の策定において、歴史資源の発掘、地域おこし協力隊を2名委嘱し、歴史資料の整理などに取り組んでいる。

郷土資料館の建替え整備は、既存施設の見学会を実施するなどして整備に向けて取組を進めている。

8 ページのところは、先ほどの陳情に対する取組や推進状況についてだが、「歴史史料の収集・保存・公開の体制」については、資料館や市誌編纂、整理、調査研究に継続的に取組、成果は浜田城資料館、郷土資料館の企画展示等により公開している。

次の「市民活動の支援、市民団体の育成」というのは、学校で出前講座や市内各種団体への支援や講演、金城資料館、それぞれの資料館においても、学校や市内各種団体への普及活動に取り組んでいる。

「歴史資源・未開史料の発掘」は、先ほどの地域計画の策定の中で調査研究資料を取りまとめ、そのリストや位置図を作成している。ということで、今後さらに歴史資源の情報を収集していくということである。

西田議員は、浜田広域行政組合の事業である浜田広域圏子ども交流事業の評価について、今年度で終了するということが前提になっている質問だが、こちらの方は最後のところの段落で、様々な体験は豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧となっており、大きな意義があったと評価していると答えている。

佐々木議員からは、6月議会で串崎議員からも一般質問があったが、国の交付金を活用した学校給食費の免除についてどうであるかという質問である。既に、激変緩和事業により値上げに対する補助を実施している。就学援助制度により給食費の全額援助を経済的に苦しいご家庭には実施している。そもそも、無償化については恒久的な施策として国全体で取り組むべきであり、国が調査検討といっている。このことから、国の交付金を活用した学校給食費の免除は行わないというところだが、学校給食費の免除は小学生、中学生のいる子育て世代に限定されるため、9月議会で、18歳以下の子どもがいる世帯に対して、一人当たり15,000円を支給する事業を提案している。学校給食費を負担する世帯を含んでそれ以上に幅広い世帯に対する

支援を政策決定しているため、今回の学校給食費の免除は行わないという決定をしたところだという言い方をしている。

11 ページ、柳楽議員は、学校図書館図書標準の達成状況ということで、令和 5 年度は小学校全体では、達成率は 120.5%、中学校では 103.6%と、達成はしている。

ただ学校単位では、特別支援学級の急増で達成していない学校もあるため、毎年度予算配分を調整して達成に努めるという様な答弁である。

12 ページのところは、廃棄基準と更新の状況である。廃棄基準は、「学校図書館図書廃棄規準」を定めており、この基準に基づいて点検し、廃棄を行っている。

具体的には、受入後 10 年経過した図書、それから記述内容や掲載資料が古くなり利用価値が失われた図書、改訂版や新版が刊行され利用価値が失われた旧版図書などを廃棄している。廃棄したものについては、同一または同等の図書を購入し更新している。

13 ページは、学校図書館の新聞配備についてである。これは小学校、中学校で全て 1 紙以上の新聞を配備している。1 校当たりの平均は、約 2.4 紙となっている。

14 ページ、学校図書館司書の配置状況についてである。全ての小学校、中学校に合計 25 名配置している。

それから、図書の活用とデジタル活用の考え方についてだが、具体的には 16 ページのところに、読書活動は本による活動が中心であり、デジタル教材等の活用は、ほとんど行われていない。

一方で「調べ学習」については、端末が 1 人 1 台整備される前からデジタル資料を活用した取組が行われていた。

なので、印刷資料、デジタル資料双方の良さや特徴を踏まえながら、必要に応じて適切に活用していくことができるように取り組んでいくという答弁である。

17 ページ、村武議員だが、子どもの心と命を守る取組で、性教育や赤ちゃんとのふれあいの授業など命の大切さを学ぶ授業の現状についてである。

学校においては、自他ともに命を大切にする取組を行っている。道徳や保健体育等において、性教育や命の大切さを学ぶ学習に取り組んでいる。

第一中学校では、「赤ちゃん・お母さんとふれあおう」という事業を地域団体等の協力を得て実施をしている。このようなことで、命の大切さと、将来地域ぐるみで子育てを応援する担い手の育成に取り組む。

続いて、小中学校の特別教室のエアコンの設置状況のところだが、具体的には 19 ページで答えている。現状として、パソコン教室、図書室、保健室への設置は全ての小中学校で完了している。それ以外の特別教室、音楽室は 3 割弱の設置になる。理科室、図工・美術室、家庭科室などは、多くの学校で設置されていない状況である。

20 ページのところは、検討状況を聞かれている。まず前提として教育委員会としては、特別教室のエアコン設置は必要であるというのが第 1 段落のところに記載してある。

学校からの聞き取り調査結果に基づき、特に利用頻度が高い特別教室へのエアコン設置に向け、中期財政計画に盛り込まれるように検討しているところだと答弁した。

最終的には、普通教室へのエアコン導入時と同様、財源措置を国に要望し、それとともに、特別教室へのエアコン設置に向けて努力をしていこうという決意を表明している。

21 ページについては、小学校の登下校の方法、スクールバス、路線バスを利用する基準を聞かれている。小学校では、概ね 4km 以上の児童に対して、路線バス利用料金の助成、それから路線バスがない地区では、スクールバスを運行して通学手段の確保をしている。ただ、スクールバスについては、学校統合の条件として運行している場合もあるため、基準に則らない場合もあると答弁している。

22 ページ、串崎議員の有機給食への取組状況についてである。今年度のことを言及しており、アイガモロボ米の使用を 11 月から 3 月まで全学校で月 1 回実施する予定で、有機野菜の使用については 6 月末時点で給食に使用した野菜の内、約 17% が有機野菜である。

それから食育活動については、食育だよりや給食時間の放送、献立表等での有機野菜の紹介や、栄養教諭が学校に出向いて有機農産物の説明を行う活動も行っている。

23 ページ、田んぼの生きもの調査を行っているかということだが、田んぼの生きものに限定した生きもの調査はおこなって

いない。ただ、川や海など、水辺の生きもの学習については、海洋館アクアスの職員の説明を聞くなど行っている。

24 ページ、永見議員は学校のプールの件である。減少しているという前提のもと、利用可能な屋外プールはどれだけあるかということで、水泳の授業を行っている学校の屋外プールは、長浜小学校、雲城小学校、弥栄小学校の3校、中学校にはない。

25 ページのところで、学校にプールがない児童生徒の水泳授業はどうしているのかという質問である。小学校については、市内の公共プールや利用可能な他校の学校のプールを使用して水泳授業を実施している。

中学校について、プールを使用した水泳授業が必須ではなく、利用可能なプールも限られるため学校ではプールを使用した授業を実施していない。ただ、安全の授業という様な関連のことは行っている。

26 ページ、夏休み中の学校プールの活用状況について、小学校の3校の内、弥栄小学校のプールでは、保護者や住民が監視役を担い、夏季休業中のプール開放を行っている。長浜小学校、雲城小学校については、現在行っていないという現状を回答している。

学校プールの改修や新設についてどうかということだが、まず最初のところで、学校のプールについて、現時点で各地域の拠点となるプールを除いて大規模な改修・修繕は行わないこととしている。

これは、平成23年に総務文教委員会で報告している内容だが、これが前提となり、各地域の拠点となるプールが、学校だけではなく、温水プール、アクアみすみ、旭公園を含めて旧市町村で1か所程度想定していることと、拠点となるプールについて定期点検を実施し、改修・修繕・新設等を行い、プール授業を行う全ての学校で適切に授業が行える様な環境を整える。

最後のところは、冒頭教育長からも話のあったチャットGPTの利用について、児童生徒への注意喚起、保護者への周知の状況についてである。7月にガイドラインが示され、これに準じた教育を行うよう周知をしている。ただ実際、教育現場ではまだよくわからないというのが現状である。下から2段落目、チャットGPTのリスクをきちんと整理して、いかに有効活用していくか研究を進めたいというのが教育委員会の考え方である。

岡田教育長	長くなったが以上である。
杉野本委員	なかなか多岐にわたり、委員方も、特に興味や関心があろうかと思うが、今回の9月の一般質問の中で何か聞いてみたいことはあるか。
草刈部長	補正予算で、6ページの23番旭中学校防音対策事業のことだが、国の方から何も出ないのか。
岡田教育長	基本的には、現行の補助金でいえば全額詳細設計以降は、補助基準に達していれば、国が10/10出すということになっている。
岡田教育長	<p>17ページに詳細が説明してあるが、この右の下を見ていただき、5年度6年度は設計に関する計算である。実際に工事をするとすると、7年度以降、ここに書いてあるぐらいの金額がわかりそうだということで防衛局と今後詰めていく。</p> <p>従って今の概算でこのぐらいだろうということで、市の方はそこに至るまでの間の事前設計を今回提示した。</p> <p>ただ新聞報道でも、あたかもこれが全部決定したかのように言っていたため、そうではなく、これからこれに基づいて基本設計し、来年申請をし、その申請が正式に通ったところで正式決定ということになる。防衛局から、そこはきちんと踏まえてほしい、正式ではない。という指摘を受けた。これは今までの両者の話し合いの中で、概ねこのぐらいの金額になり、7年目以降の実際の工事については、国のお金でやらせてもらうというふうに考えている。</p>
杉野本委員 岡田教育長 各委員	<p>承知した。</p> <p>他はよろしいか。</p> <p>特になし。</p>
藤井課長	<p>行事等予定表（資料5）</p> <p>資料5をご覧ください、9月26日から10月31日までの行事等予定表である。特に教育委員方に参加いただきたいものについては、丸印をつけている。9月29日より、後半の教育委員会学校訪問がある。よろしく願います。会の終わりに、学校訪問当日に使っていただくメモ付きのレジュメと当日の集合についてご意向をそれぞれ確認させていただきたいと思う。</p> <p>上から2つ目の丸だが、令和5年度浜田市園長・校長合同研修会、先程会が始まる前に学校教育課長が資料を配ったが、コ</p>

コミュニティ・スクールの講演会となっている。会の後ほど出欠についてご意向を確認させていただく。

資料5については、以上である。

地域おこし協力隊員の委嘱について（郷土資料整理業務事業）
（資料6）

資料6をご覧ください、今年度、中央図書館において古文書や行政文書などの整理を調査、研究を行っていただくための地域おこし協力隊制度を活用し、2名の地域おこし協力隊の方が着任されたため報告する。

小川さんと竹中さん2名に来ていただいた。委嘱は1年単位だが、最高で2回更新できるため、令和7年度末までの委嘱となる予定である。

早速だがもう2人とも作業をしていただき、月報などに出てくるが、こつこつと今、主に行政文書の整理をやっていただいているところである。

図書館に行政文書の資料が大量にあるため、2人のおかげで順調に進むのではないかと期待している。

以上である。

ただいま2点の説明があつたが、質問等あるか。

特になし。

特に、10月3日の園長・校長会の合同研修については、内容が内容なので承知しておいていただいた方がいいかと思い、正式にご案内をさせていただくということとした。ご都合がつけば、ぜひ参加をしていただきたいと思います。

岡田教育長
各委員
岡田教育長

山口課長

HAMADA 教育魅力化コンソーシアム ミニだより（資料7）

資料7をご覧ください、HAMADA 教育魅力化コンソーシアムだよりである。今年度、高校生の地域系部活動ということで、新たに支援という形でスタートした。8月の頭にキックオフ会をした。この会に9名参加し、去年色々なコンソーシアムの事業に参加してもらった浜高生を中心に、今は大学生になっているが3名来ていただき、一緒になって裏面にあるトークや活動を行った。

現在は浜田高校7名、浜田商業高校18名、浜田水産高校1名、合計26名で色々な地域活動に参加している。

岡田教育長
各委員

この中で、先般、図書館の 10 周年の記念等、地域のイベントについて、単なるお手伝いではなく考えながら参画できる様な仕組みを、どんどん活動の中に取り入れて活動していきたいと思う。

以上である。

この件で、質問はあるか。

特になし。

永田担当課長
(代理：藤井係長)

長期休業中におけるはまだっ子共育推進事業について(資料 8) 本日課長が不在のため私の方から説明する。資料 8 をご覧いただきたい。

夏休み期間中におけるはまだっ子共育推進事業についてということで、各まちづくりセンターにおいて、さまざまな取組を実施した。コロナが 5 類に移行になったということで、かなり各センターでいろんな取組をしているが、中でも各地域、浜田、金城、旭、弥栄、三隅の地域ごとで主だった取組を紹介させていただく。

一つ目だが、浜田地域である。「子ども未来チャレンジ」ということで、周布まちづくりセンターで実施された。企画の段階から小学 6 年生の児童がどういふことをやってみたいかということ自分たちで決めて、BBQ をやってみたいということで、資金調達から小学生が企画した事業である。自分たちで作ったパンやクッキーを販売して、その資金で BBQ をやったという、非常に子どもたちの主体性を育むうえでは重要な取組だったと思う。

続いて金城地域である。今福のまちづくりセンターで「分かる」がうれしい！夏休み学習会ということで開催された。こちらは、島根県立大学の地域政策学部の村山ゼミと共同で行った事業である。村山ゼミの方で各まちづくりセンターとでいろんな情報発信等をやっているが、そうしたところから大学生がセンターと意見交換をした際に、こういったことを大学生がやってみたいということで、センターと共催で計 38 回実施された。

続いて旭地域である。「わくわく夏休み」ということで、今市のまちづくりセンターで開催された。場所としては今市の児童クラブで行い、異年齢の交流を図るということを目的に、高

齢者クラブの方と一緒に事業を実施されたと伺っている。準備や運営については小学生と一緒に行って、当日は小学生が中学生や高齢者クラブの見守り・サポートを受けながら射的やそうめん流しなどを楽しんだということである。

続いて弥栄地域である。「この夏「君が」「地域が」…変わる」という事業を実施された。これは昨年度が第1回目の開催で、昨年度に引き続いて今年度も開催された。

5番目の協力のところで「鳥取大学生」というところがあるが、これは昨年度地域医療研修として弥栄の診療所に研修で来られた鳥取大学生が地域のフィールドワークを通して、杵束のまちづくりセンターのいろんな取組に参加して住民と交流されたことで、弥栄が非常に素晴らしいというところで、今年度ふるさと体験村で大学生無料招待キャンペーンを実施されており、そこに令和4年度に来られた大学生が応募されたということである。そこで、せっかくなので弥栄で何か自分たちが協力できないかということで、今回この事業に関わっていただいたという経緯がある。そういった意味で、交流人口の増加というところにつながった非常にいい事業だったと思っている。

最後に三隅地域である。「ぐるっと三隅」ということで、学校の先生方が、今後子どもたちにふるさと教育を行う際、地域の資源等を学習する上で三隅町内のいろんなところを回るといふ事業で、まちづくりセンターと連携して見学ツアーを行っている。以上である。

この件についてご質問等あるか。

特になし

岡田教育長
各委員

鳥居室長

学力育成総合対策事業中間報告（資料9）

資料9をご覧いただきたい。ほぼ半年経つので、学力総合対策事業の中間報告ということで説明させていただく。これまで触れてきたものについては省略する。

まず協調学習研修会であるが、午前・午後ということで2コマ用意しているが、例年は午前も午後も同じメニューだったが、今年は午前と午後でメニューを変えている。

午前はいわゆる初歩から学びたい方、午後はもっと深めていきたい方ということでコースを固めた。

午後については、一番下、内容のところにあるが、実際に 2 学期に授業する内容について模擬事業をしていただいて、それについて皆で検討する、授業を作り上げる、それを通してそれぞれが研修していくというかたちで開催している。

2 ページ、めくっていただいたページになるが、協調学習研究指定校の公開事業である。三中、三隅中が公開授業をしている。

三隅中については、東京大学の CoREF のご厚意で、旅費等も全て無料で堀研究員が実際に来て指導・助言に関わっていただいた。

それから 3 番目の小学校算数科授業改善指定校についてであるが、順調に事業を行っている。(3) の長浜小学校の下に※としているが、この日は午後から前田教授、指定校 2 校の校長を交えて今後の方向性について協議を実施した。

指定校同士の歩調を合わせて推進していくということで、そういった会も出させていただいている。

ここには書いていないが、昨日、長浜小学校で 2 回目の授業公開を行っている。

それから 3 ページに入って 6 番、図書館活用教育研修会であるが、6 の (4) の下に※印をしているが、教育研究会の学校図書館部会、国語部会との共催ということで、参加者も結構集まっている。ゼロ予算だったため、講師料は図書館部会と国語部会から出していただいた。

続いて 4 ページであるが、小学校の科学教室についてである。ほとんど終わっているが、10 月 19 日に三隅小学校と旭小学校、これを行って今年度は終了ということになる。以上である。

ただいまの説明に対して何かあればお願いします。

特になし。

岡田教育長
各委員

山本課長

第 17 回 浜田市総合スポーツ大会について (資料 10)

資料 10 をご覧いただき、第 17 回浜田市総合スポーツ大会について報告する。今年度、第 17 回総合スポーツ大会を 10 月 7 日 (土) の卓球、陸上競技を皮切りに 12 月 9 日 (日) の弓道まで、全部で 20 種目、一部ユニカールについては 7 月に実施を終えているが、この期間の中で実施される。

10 月 7 日 (土) 8 時 30 分から島根県立体育館にて総合開会

式を開催する予定としている。

それと、本日委員方に浜田市美術展のチラシを配付させていただいている。浜田市美術展は第 54 回になる。9 月 30 日から一般公募展が始まり、10 月 25 日の児童・生徒図画展まで開催している。

本日、実は審査を行っており、その審査結果については、昨年同様に後日、委員方に文書でお知らせをさせていただきたいと思うのでご了承いただきたい。

以上である。

文化スポーツ課長からの報告について、ご質問等あるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

4 その他

(1) その他

岡田教育長
藤井課長

事務局からその他何かあるか。

特になし。

岡田教育長

その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いする。

各委員

特になし。

次回定例会日程

定例会 10 月 23 日（火）13 時 30 分から 北分庁舎 2 階会議室 1

次々回定例会日程

定例会 11 月 20 日（月）14 時 30 分から 北分庁舎 2 階会議室 1

14 : 59 終了